

科目名		授業形態	担当教員名	
人工内耳		講義	矢吹 裕栄・山口 忍・塩見 千夏	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
15 時間（1 単位）		8 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
人工内耳の基本原理と仕組み、適応基準、および臨床の流れについて講義し、人工内耳のマッピングと音声調整、フィッティングについて解説する。実際の支援について、ケースワークを行う。				
授業の到達目標				
人工内耳の仕組みを理解する。装用児者のケースワークを通して、臨床上必要な支援について学ぶ。				
授業計画				
回	内容			
1	人工内耳の原理の学習に必要な知識の確認		(矢吹)	
2	人工内耳の原理、補聴器との違い		(矢吹)	
3	人工内耳のコード化法、適応基準、マッピングの基礎		(矢吹)	
4	人工内耳のマッピング（成人）		(山口)	
5	人工内耳のマッピング（小児）		(山口)	
6	人工内耳の音質調整		(塩見)	
7	演習		(塩見)	
8	演習		(塩見)	
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%	言語聴覚士として、人工内耳医療の適応及び機器の仕組みと機能を理解し、調整のための手順と考え方を説明できる。また、国家試験対策に必要な理解度に到達しているかを評価する。		
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
標準言語聴覚障害学 聴覚障害学 第3版	中村公江 他編	医学書院		
自由記載	必要に応じてプリントを配布する。			
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
自由記載				
備考				
人工内耳の理解には聴覚分野だけでなく音声学、音響学などの理解も重要です。復習しておく、学習が効率的に進みます。				